

第3学年国語科 学習指導案

平成27年2月23日(月)より

3年1組(男子13名 女子12名 計25名)

3年2組(男子13名 女子12名 計25名)

授業者 T1 渡邊 智穂

T2 酒井 尚子

T2 吉井 惇也

1 単元名 世界の家のつくりについて考えよう

～世界の家まで行ってQ 「世界の不思議な家カードで交流し世界をめぐる」～

教材名 「人をつつむかたち」(東京書籍3年下)

2 単元の目標

○世界の家のつくりに興味を持って読み、気候や暮らしとつなげて工夫されていることに気づき、紹介しようとしている。(関心・意欲・態度)

○「世界の不思議な家カード」で紹介するために文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を引用したり、要約したりしている。(C 読むこと エ)

○「世界の不思議な家カード」で交流するために、いろいろな本や文章を選んで読んでいる。(C 読むこと カ)

○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解して使っている。

(言 イ (ク))

3 単元について

(1) 単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

小学校学習指導要領・国語の第3学年及び第4学年「C 読むこと」の指導事項「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に中止ながら読み、文章を引用したり、要約したりすること」「カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。」を取り上げて指導する。

②単元を貫く言語活動とその特徴

「C 読むこと」の言語活動例「オ 必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読む言語活動」を具体化した、「自分の不思議に思った世界の家のつくりについて調べ、『世界の不思議な家カード』で友だちと交流し合う」という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる『世界の不思議な家カード』とは、自分の読んできた本の中から一番不思議に思った家について取り上げ、家のつくりについて紹介し、なぜそのようなつくりになっているのかが分かるように理由も書かれている。このカードをもとにして、最終的には大陸ごとにグループを作り、世界の不思議な家について紹介し合い、交流するというものである。カードのはじめにはまず、簡単な見出しをつける。このことにより、自分の紹介したい家の特徴を明確にし、不思議に思った理由にもつながると考えられる。そして、自分の不思議に思った家のつくりについて簡単にまとめる。つぎになぜそのような作りになっているのかという理由を考えることで、その答えを出すために、人々の暮らしや気候と関連付けながら書かれている文章を読むことができると思われる。教材文で学んだ、家のつくり、そのようなつくりになっているわけ、人々の暮らしについて意識してまとめていくことで「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に中止ながら読み、文章を引用したり、要約したりすること」(C 読むこと エ)を確実に実現できるようになっている。さらにカードにまとめる際には、文章の表現や情報だけに限らず、絵や写真からも分かったことや気付いたことを加えながらまとめていけるようにしたい。また、並行読書を行うことで、児童は、自分が興味を持った世界の家について書かれた本を読んでいく。その際、3つの観点を意識しながら自分のカードに必要な情報を集めていけるようにする。不思議に思った家を選ぶために、い

ろいろな本を読むことは「カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと」にも直結する。

本教材は、世界の家がその土地の人々の暮らしや気候にあわせて作られているということを捉えることができる教材である。文章の中には、家のつくりや気候に関係した記述があり、目的を持って読むことができるになっている。また、文章だけでなく、世界の家のつくりについての写真や絵についても着目させ、筆者の観点にそって情報として読ませることでカード作成の手がかりとしたい。児童は、本教材で紹介されている家のつくりと人々の暮らしの様子が日本の家とは全く異なるので、なぜそのようなつくりになっているのか、疑問の答えを見つけながら読んでいくであろう。また、その土地特有の諸条件を理由として関連付け、理解して説明する力を身につけることができるように「世界の家不思議カード」で単元を貫ぬきながら学習を進めていきたい。

(2) 児童観

児童は、4月の説明文「自然のかくし絵」の中では、それぞれの段落に何が書かれているか考えて、段落相互の関係や事実と意見との関係を考えながら生き物の身のかくし方について読み、かくし絵カードを作成した。既習をもとに文章全体をはじめ、なか、おわりにわけ身のかくし方のすごいことや驚いたことを中心にして文を捉えることができるように指導した。学習新聞づくりでは、小見出しのつけ方を学習し、他教科においても活用しようとする姿も見られた。また、11月には「盲導犬のはたらき」の単元において、働く犬についての疑問をもとに「盲導犬物知りカード」を書くために文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を引用したり、要約したりする活動を行った。その際、「訓練」という言葉をキーワードに文章の中心となる大事な事柄に注意しながら読んだ。

児童の実態は活発で、学習課題に対して興味・関心が強く、友だちの意見を聞きながら自分も話したいという姿が見られる。学習の振り返りや調べ学習等、書くことに対しても抵抗なく納得いくまで書くことができる。しかしながら、長文を読む力については大きな個人差がある。さらに気分がむらがあり集中力を持続させることが難しい児童もいる。三次の交流会に向けて、児童一人ひとりが自信をもって世界の不思議な家を紹介できるよう、「できた」という充実感を味わいながらまとめさせたい。そのためには「何のことについて」、「どのように」まとめていくのか、読む目的を明確にし、見通しを持たせて活動に取り組みさせていきたい。

(3) 指導観

第一次では、教師が作成した「世界の不思議な家カード」をもとにした交流会のモデルを紹介する。そして、この単元では、『世界の不思議な家カード』で友だちと交流し合うために自分の不思議に思った世界の家のつくりについて調べ、なぜそのようなつくりになっているのか、わけもはっきりさせながら「世界の不思議な家カード」にまとめていく”という学習のめあてをもつ。

第二次では、教材文全体を大きくとらえ、筆者の書いている世界の家についての観点をせりし、家の材料や、気候、人々のくらしに便利なように作られていること確かめる。そして、書かれている3つの観点(家のつくり、人々のくらし、なぜそのようなつくりになっているのか)で教材文を読んでいく。例として出ているモンゴルの家についてもこの3つの観点から読み、具体的にどの記述がどの観点到当たるのかということを確認しながら進めたい。その際、なぜこのようなつくりになっているのかという理由の中に気候と関係していることに気付くよう、発問を工夫していく必要がある。気候という言葉のおさえは少し難しいため、家のつくりの理由の中に気候とつくりが関係していることに気付かせたいので、カードの項目にも仕組んだ。モンゴルの家について3つの観点を読んだ後は、それを活用し、残りの2つの家のつくりから自分の「これはすごい」と思った家について、不思議カードを書く。これまで学習してきた3つの観点(子どもには「読み方」と確認)をもとに、カードを自力で書く活動を仕組む。また、写真や挿絵からも参考になったことをカードの項目と関連させて書くこともできるように資料として使えるよう声をかける。第一次から第二次まで並行読書は入れ子方式を取り入れ、各時間で学んだ読み方をもとに家の「つくり」や「気候」につい

て意識して並行読書ができるよう時間を確保し、効果的に並行読書を進めていくことができるようにしたい。

第三次では、第二次での学習をもとに自分が「これはすごい、これは不思議」と思った世界の家の一つを選んで「世界の不思議な家」カードを書く。児童は3つの観点にそって家のつくりとそのつくりの理由、人々の暮らしを短くまとめていく。これまでの既習があるので、児童は主体的に活動していくと思われる。カードができると、児童の選んだ国の地方ごとにグループを作り、交流会に向けて準備をする。これまで作成してきたカードを紹介し合い、お互い3つの観点をもとに読んだことがまとめられているか、確かめながら紹介し合うようにする。さらにお互いの紹介を聞いて共通点を見付けたり、相違点に気付いたりすることによって、さらに家のつくりと気候について考えることができたと思う。「世界の不思議な家」交流会では準備会で紹介しあったことをや考えたことを積極的に出し合い、グループでの活動の時間の充実を図り、児童の意欲化を図っていきたいと考えている。

(4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、児童自身が単元を通して学ぶ目的をもち、見通しをもって言語活動を展開していく必要がある。そこで、導入では、教師が書いた『日本の不思議な家カード』を用いて交流会の見本を見せ、単元のゴールイメージを具体的に示す。単元全体の学習の見通しを持たせることで目的意識をもたせ、自分にもできそうという思いを持たせて学習に取り組ませたい。児童は、並行読書で世界の家のつくりについて書かれている科学的読み物を読んでいく。その中で家のつくりや気候、人々の暮らし方に着目しながら読み、カードにまとめ『世界の不思議な家』交流会で報告するために主体的に学習を進めていくと考えられる。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・世界の家のつくりに興味を持って読み、気候や暮らしとつなげて工夫されていることに気付き、紹介しようとしている。
読む能力	・「世界の不思議な家カード」で紹介するために文章の要点や細かい点に中止ながら読み、文章を引用したり、要約したりしている。 (エ) ・「世界の不思議な家カード」で交流するために、いろいろな本や文章を選んで読んでいる。 (カ)
言語についての 知識・理解・技能	・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解して使っている。 イ(ク)

<言語活動のモデル>「世界の不思議な家カード」

(表)

(裏)

なぜこのようなつくりになっているか (A)

不思議に思った家のつくり

家の特徴を書いた見出し

このあたりは冬に雪が多く、屋根を急にする。雪がつもりにくくなるからです。雪がつもりにくいと雪の重みで家がつぶれる心配がなくなり。

なぜ屋根のかたむきが急なつくりなのだろう。

不思議に思った家のつくりの疑問 (Q)

高くて急なカヤの屋根。屋根が高い。合しようばりのあなに木をさしこむだけのつくり。雪や風に強い。入々は屋根うらて養生をしてくりしてきた。銃すきや牛馬をかうための部屋がある。

私の感想

日本の波達 秋田県 智穂

国の名前を書く

家のつくりや理由を知った感想

6 単元構想図

単元を貫く言語活動

自分の不思議に思った世界の家のつくりについて調べ、『世界の不思議な家カード』で友だちと交流し合う

◇学習の流れ

第一次

並行読書

- 学習への意欲と見通しをもつ。
 - ・指導者の「日本の不思議な家カード」の紹介を見て、学習のねらいと方法を知る。
 - ・並行読書をする。①

第二次

- 教材文「人をつつむかたち」で家のつくりの工夫について理解する。
 - ・教材文全体を大きくとらえ筆者の観点について理解する。②
 - ・それぞれの家についての書かれ方について3つの観点を確認する。③
 - ・モンゴルの家について世界の家カードにいる要素を確かめながらまとめる。④、⑤
 - ・チュニジアかセネガル、どちらか一方を選んで世界の家不思議カードにまとめる。⑥、⑦
 - ・入れ子方式で並行読書を入れる。(②～⑦)

第三次

- 『世界の不思議な家カード』交流会を開く。
 - ・自分の紹介したい世界の家を選んで、「世界の不思議な家カード」にまとめる。⑧、⑨
 - ・「世界の不思議な家」交流会に向けてグループ別に準備をする。⑩
 - ・「世界の不思議な家カード」をもとに交流会を開く。⑪

◇意識の流れ

【児童の実態】

目的に応じて大事な部分を読み、必要なことを短くまとめる力が弱い。

- ・科学読み物の読み方を確かめよう。
- ・世界には不思議な家があるね。
- ・どの家を紹介しようかな。
- ・カードにはどんなことをまとめるのだろう。

- ・筆者の小松さんはこんなことについてまとめているね。
- ・3つのことが中心に書かれているね。
- ・(Q) こういうつくりになっているわけはなぜだろう。
- ・(A) なるほど、だからこんなつくりになっているんだね。
- ・並行読書で〇〇の家をみつけたよ、付箋を貼っておこう。
- ・挿絵も写真も参考にしよう。

- ・順番を決めて「世界の不思議な家」を紹介する準備をしよう。
- ・ここは分かりにくいから、付け足しが必要だね。
- ・すごい！こんなつながりを見つけたよ。
- ・人々のくらしと家のつくりが関係しているんだね。

単元で付けたい力

- ・目的に応じて文章の要点や細かい点に中止ながら読み、文章を引用したり、要約したりする力
- ・目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読む力

7 指導計画及び評価計画（全11時間）

	時	学習活動	主な評価規準
第一次	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> これからの学習のめあてを知ろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の「日本の不思議な家カード」を見て、交流会のねらいと方法を知る。 ・自分の不思議に思った世界の家のつくりについて調べ、『世界の不思議な家カード』で友だちと交流し合うという学習のめあてをもつ。 ・「地球生活記」の紹介を見て、世界の家について興味を持つ。 ・並行読書をする。 	【関】 世界の家のつくりに興味を持って読み、気候や暮らしとつなげて工夫されていることに気づき、紹介しようとしている。 （発言・ノート）
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 「人をつつむかたち」にはどんなことが書かれているかつかみ、筆者の言いたいことを整理しよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・例として出されている国の家の材料、気候、人々のくらしに便利ないように作られていることを確認する。 	【読】 家の作りについての筆者の観点を、書かれている内容から読んでみる。 （発言、教材文、ノート）
第二次	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 教材文から、カードに書くことを確かめよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・書かれている3つの観点を確かめる。 ・家のつくり、人々の暮らし、なぜそんなつくりになっているのか。 ・3つの中から自分が「これはすごい」と思った家を選び、理由を書いて交流する。 ・3つの観点を意識して並行読書を進める。 	【読】 家のつくりが、気候や暮らしと関わって工夫されていることを読んでみる。 （発言・ノート・） 【読】 いろいろな本や文章を選んで読んでみる。 （行動観察）
	4 ・ 5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> モンゴルの家のつくりについて3つの読み方からまとめよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・モンゴルの家について3つの観点から読む。 ・どうしてそんなつくりになっているのか考える。 ・家の「つくり」を意識して並行読書を進める。 	【読】 モンゴルの家のつくりや理由について、文章と写真を関わらせながら筆者の観点到って読んでみる。 （発言・ノート） 【読】 いろいろな本や文章を選んで読んでみる。 （行動観察）
	6 ・ 7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 教材文の中から自分の選んだ家の不思議カードを書こう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・チュニジアとセネガルのうち自分の「これはすごい」と思った家を選んで、世界の不思議な家カードを書く。（3つの観点を確かめて） ・挿絵や写真からも参考になったことをカードの中に入れることを確認する。 ・並行読書で必要な情報を集める。 	【読】 教材文から選んだ家のつくりや理由について、文章と写真や挿絵を関わらせながら筆者の観点到って読んでみる。 （発言・ワークシート） 【読】 いろいろな本や文章を選んで読んでみる。 （行動観察）

第3次	8 9	<p>これはすごいと思った家の「世界の不思議カード」を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 並行読書をしてきた中で、自分の紹介したい家を選んで「世界の不思議な家カード」を書く。 ・ 学習の振り返りを書く。 	<p>【読】世界の不思議な家カードを書くために、自分の選んだ家について、文章と写真や挿絵を関わらせながら学習してきた観点にそって読んでいる。(ワークシート)</p> <p>【言】指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解して使っている。(ワークシート)</p>
	10	<p>家のつくりやその理由についてまとめられているか確認し合い、交流するための準備をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ別に紹介カードを発表しあって、それぞれのカードの良さを確認する。 ・ 自分の紹介する家と、グループの友だちの紹介する家に共通点はないかどうかを話し合う。 ・ グループごとに紹介の練習をする。 	<p>【読】家のつくりやその理由がカードに書かれているか確かめながら友だちのカードを読んでいる。</p> <p>(発言、行動観察、国語日記)</p>
	11	<p>『「世界の不思議な家カード」交流会』を開いて不思議な家を紹介し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『「世界の不思議な家」交流会』を開いて不思議な家のつくりを中心に交流し合う。 ・ 国語日記を書く。 	<p>【関】世界の家のつくりに興味を持ち、気候や暮らしとつなげて工夫されていることに気付きながら紹介しようとしている。</p> <p>(発言、行動観察、国語日記)</p>



今日のめあての振り返りを印ではなく、文章にして書いています。めあてのそって感想を書くよ。



第一次の一時間目
小松さんの「地球生活記」の写真を見た児童から、「なぜ水の上に家がつくられているの？」と的を得た質問が…。これからが楽しみです！！

8 本時の学習（1／11）

目標 世界の家に興味を持ち、「これはすごい」と思ったつくりの家を「世界の不思議な家カード」で紹介し、友だちと交流するという学習のめあてをもつ。

（1）展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点（○） 評価（☆）支援（※）
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「人をつつむかたち」を学習する目的を知ろう。</p> </div>	<p>○これまで学習してきた説明文を思い出させ、学年最後の説明文の学習になることを伝えて意欲をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>（1）家庭から読んできた感想を簡単に話し合う。</p> <p>（2）「地球生活記」を見て世界の様々な家に興味を持つ。</p> <p>（3）教師のモデルを見せる。</p> <p>（4）モデルを見た感想を言う。</p> <p>（5）学習の流れを見せる。</p> <p>3 学習の振り返りをする。（ノートへ）</p> <p>4 並行読書をし、世界の家について書かれている本に出会う。</p>	<p>○家庭学習の音読とからめながら読んできた感想を簡単に出させる。</p> <p>○本の中に載っている大きな写真を見せて、これからの学習に興味・関心が持てるように話を交えながら進める。</p> <p>○教師作成のカード、「岐阜県の家」編を見せ、どんなことが書かれているか考えさせながら見せる。</p> <p>○学習のめあてを明確にし、全 11 時間で活動していくことを伝えて見通しを持たせる。</p> <p>☆世界の家のつくりに興味を持って読み、気候や暮らしとつなげて工夫されていることに気づき、紹介しようとしている。 (発言・国語日記・行動観察)</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 国語日記を書いて今日の学習と教材文を読んだ感想を書いてくる。</p> </div>	<p>○次時は筆者の言いたいことを整理することを伝える。</p>

8 本時の学習（2／11）

目標 教材文「人をつつむかたち」のボリビアとルーマニアの文章から、共通して書かれていることを見つけ、家のつくりについての筆者の観点を読むことができる。

（2）展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点（○） 評価（☆）支援（※）
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">はじめの文章から、筆者の言いたいことを整理しよう。</div>	<p>○家庭学習のノートを紹介し、意欲を持たせる。 ○単元のゴールを全員で確かめさせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>（1）P100～P101を音読する。</p> <p>（2）どんな国が出てきたか確認する。 ・ボリビアの家 ・ルーマニアの家</p> <p>（3）小松さんの言いたいことはどんなことなのか考える。 ・地元にある材料を使う ・土地の気候に合わせる ・人々のくらしに合うように作られている。</p> <p>（4）2つの国の家のつくりについて3つの項目に当てはまるところに線を引く。 ・材、・気、・人</p> <p>3 学習の振り返りをする。（ノートへ）</p> <p>4 並行読書をし、世界の家について書かれている本に出会う。</p>	<p>○どんなことが書かれているか考えながら一文ずつ交代して音読させる。</p> <p>○世界地図を用意し、参考程度に場所を確認する。 ○家について書かれていることをつかませる。 ○小松さんは、家についての何を言いたいのか4段落を中心に3つのことをつかませる。</p> <p>○3つのことに当てはまるのは具体的にどこなのか線を引かせる。</p> <p>○めあてにそってノートに簡単に書かせる。 ○今日出てきた3つの観点を参考に読書するように声をかけ、意識して付箋もはらせるようにする。 ☆家につくりについての筆者の観点を、書かれている内容から読んでいる。 (発言・ノート・教材文)</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 P102 から段落を付けてくる。3つの写真を見て、どんなところと思うか考えたことをノートに書いてくる。</p> </div>	<p>○次時は3つの国の文章から、カードに書くことを確認することを伝える。</p>

8 本時の学習 (3/11)

(1) 目標 例として挙げられている3つの国の家について、筆者の観点が具体的にどの部分に書かれているのか確かめ、家のづくりが気候や暮らしと関わって工夫されていることを知る。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元のゴールを確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p>	<p>○⑥～⑭を2分間音読の後、言語活動を確認し、ゴールイメージを共有する。</p> <p>○児童の国語日記を紹介し、これからのノート作りを意識させる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">教材文から、カードに書くことを確かめよう。</div>	
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 前時に見付けた三つの観点を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の材料 (づくり) ・人々の暮らし ・気候に合わせてつくる <p>(2) モデルの中に3つの観点が入っているか確かめる。</p> <p>(3) 3つの事例の中で「これはすごい」と思った家についてノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体 ・個人 ・ペア <p>4 学習の振り返りをする。</p> <p>5 並行読書をし、世界の家について書かれている本を読む。</p>	<p>○前時のノートをもとにして、口頭で出させる。</p> <p>○観点のことを「読み方」ととらえて全員で確認する。</p> <p>○モデルの中には本当に3つの観点が入っているか確かめながら①～③を聞くように声をかけてから読む。</p> <p>○3つの事例の中から1つ選び、観点に沿ってすごいと思ったところ、そのわけを書かせる。</p> <p>※書き始めに迷っている児童には、どの家が凄いと思ったか尋ね、その家のどこがすごいと思ったのかを更に聞いて、書くことができるように支援するその後で凄いと思ったのは3つの観点のうちどれかをおさえさせる。</p> <p>○カードに書くことは、と書き始めて3つの観点を書かせる。</p> <p>○並行読書をする時に自分がすごいと思った家について今日の学習の3つの観点について付箋にメモして読んでいくようにする。</p> <p>☆家のづくりが、気候や暮らしと関わって工夫されていることを考えながら読んでいる。 (発言・話し合い・ノート)</p>
<p>6 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>家庭学習</p> <p>モンゴルの家について3つの観点で書かれている所に線を引いてくる。隣に材、人、気と印をつけて。</p> </div>	<p>○次時はモンゴルの家のづくりについて学習することを伝える。</p>

8 本時の学習（4／11）

(1) 目標 モンゴルの家の事例から、家のつくりについて3つの観点に着目しながら、文章や写真、挿絵を使って読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元のゴールを確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p>	<p>○教材文P102を1分間音読の後、言語活動を 確認し、ゴールイメージを共有する。</p> <p>○家庭学習が本時とつながっていることを話し、 予習してきたことについて評価して、意欲を持 たせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> モンゴルの家のつくりについて、3つの読み方からまとめよう①。 </div>	
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 前回の家庭学習の際にノートに書 いておいた、モンゴルの写真から 考えたことを出し合う。</p> <p>(2) 写真から出てきたことがあてはま るかどうか、確かめながらP10 2を「。」で交代させながら音読さ せる。</p> <p>(3) 家庭学習をもとに3つの読み方 について確かめさせて見付けてきた ことを確認し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア ・全体 <p>(4) 材料についてどう感じたか簡単に ノートに書く。</p> <p>4 学習の振り返りをする。</p> <p>5 並行読書をし、世界の家について書 かれている本を読む。</p>	<p>○家庭学習をもとにしながら、児童が気付いたこ とを挙げさせる。</p> <p>○寒い、まわりに建物が無い、広いといったイメ ージを共有する。</p> <p>○音読する目的を持って読ませる。</p> <p>※ペアでは自分が読んできた事を3つの観点に 沿って話をしていくように声をかける。</p> <p>○全体では材料、気候、人々の暮らしに便利とい う観点で線を引いたところを確かめるが、二つ のことが重なっているところがあればとりあ げ、相互が絡んでいることにも気付かせるよう にする。</p> <p>○印のみつける。</p> <p>☆モンゴルの家のつくりや気候について、文章 と写真を関わらせながら筆者の観点にそっ て読んでいる。</p> <p style="text-align: right;">(発言・話し合い・ノート)</p>
<p>6 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>家庭学習 本時の学習について国語日 記を書いてくる。</p> </div>	<p>○次時はモンゴルの家について人々の暮らしと のかかわりを学習することを伝える。</p>

8 本時の学習（5／11）

(1) 目標 モンゴルの家のつくりについて3つの観点のうち、人々の暮らしについて、気候や材料と関連付けながら文章や写真、挿絵を使って読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
1 P102を音読する。 2 本時の課題をつかむ。	○週明け、どれほど家庭から練習してきているか意識させ、2分間音読の後、言語活動を確認し、ゴールイメージを共有する。 ○「世界の不思議な家カード」をどの国の家で作ろうと考えているか聞く。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> モンゴルの家のつくりについて、人々の暮らしを中心に考えよう。 </div>	
3 課題を解決する。 (1) 前時を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・材料 ・気候 ・人々の暮らしにべんり (2) モンゴルの人々の暮らしを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・羊や馬を放牧してくらす。 ・家の中には部屋が区切られてない。 ・馬と共にくらす。 <ul style="list-style-type: none"> ・個人 ・ペア ・全体 4 本時の振り返りをする。	○国語日記を紹介することで前時を思い出させる。 ○材料、気候については短く、べんりのところで本時のめあてとからめる。 ○3つの項目のうち、2つを関連させた意見があったことに気付かせる。 ○文章や挿絵から考えてノートに書かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・～のことから…と思った。と書かせる。 ※書き出しに迷っている児童には、挿絵や文章を一つ取り上げ、とりあげたことから何が分かるかをたずね、まとめていけるよう支援する。 ○全体交流の際は、出てきた具体的なことを確認したうえで、だからこんなつくりになっているのだということに気付かせ、家のつくりと人々の暮らしが密接に関係していることをおさえさせる。 ○ノートに今日の学習で考えたことや気付いたことをめあてに沿って書かせる。
5 並行読書をし、世界の家について書かれている本を読む。	○必要な情報を意識して集めることができるよう声をかける。 ノートにメモを取ることを声をかける。 ☆モンゴルの家のつくりや気候について、文章と写真を関わらせながら筆者の観点にそって読んでいる。 (発言・話し合い・ノート)
6 次時の学習について知る。	○次時は教材文で「世界の不思議な家カード」を書くことを伝える。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> 家庭学習 世界の不思議な家カードをチュニジアで書くか、セネガルで書くか決め、3つの読み方をもとに整理してくる。 </div>	

8 本時の学習（6／11）

(1) 目標 教材文から選んだ家のつくりや理由について、文章と写真や挿絵をかかわらせながら、筆者の観点に沿って読んだことを「世界の不思議な家カード」にまとめている。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元のゴールを確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">自分の選んだ国の「不思議な家カード」を書こう。</div>	<p>○2分間音読の後、言語活動を確認し、ゴールイメージを共有する。</p> <p>○児童のノートを紹介し、これからのノート作りを意識させる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) カードの書き方を知る。</p> <p>①家のつくりや材料、人々のくらしを簡条書き</p> <p>②家のつくりについてのクエッション</p> <p>③なぜそのようなつくりになっているのか理由</p> <p>(2) カードを書く。</p> <p>・①、②を中心に書く。</p> <p>(3) 書いたことについて友だちと交流する。</p> <p>・ペア</p> <p>・全体</p> <p>4 並行読書をし、興味のある自然について書かれている本に出会う。</p>	<p>○家庭学習をもとにしてノートも参考にしながら書いていいことを知らせる。</p> <p>○友だちにぜひ紹介したい家のつくりをQとして書かせるようにする。</p> <p>○Aには、Qで出たことに対して、どうしてそのようなつくりになっているのかの理由を書くように説明する。このときに、人々のくらしにべりなと絡めて書くことも伝える。</p> <p>※書き始めに迷っている児童にはどちらの家を選んできたのか尋ね、これまで学習した3つの観点をだし、材料や気候と人々の暮らしとのかかわりについても尋ねることで、個別に支援する。</p> <p>○同じ国の家を選んでいる子どもどうしで交流し、よく読んでいるところ、考えたこと、参考にしたいところなどを確認させる。</p> <p>○カード作りを意識させながら、今日まとめたことが書かれているか確かめて並行読書をさせる。</p> <p>☆教材文から選んだ国の家のつくりや理由について、文章と写真や挿絵をかかわらせながら筆者の観点に沿って読んでいる。 (発言・話し合い・ワークシート)</p>
<p>6 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習</p> <p>今日の学習について、カードに書いたことや友だちと話したことをもとに国語日記を書いてくる。</p> </div>	<p>○次時は続きを書いて、カードを仕上げることを伝える。</p>

8 本時の学習（7／11）

(1) 目標 教材文から選んだ家のつくりや理由について、文章と写真や挿絵をかかわらせながら、筆者の観点に沿って読んだことを「世界の不思議な家カード」にまとめている。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 単元のゴールを確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">「世界の不思議な家カード○○○○編」を完成させよう。</div>	<p>○児童の国語日記を紹介し、本時へ向けて意欲化を図る。</p> <p>○2分間音読の後、言語活動を確認し、ゴールイメージを共有する。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 今日仕上げるところはどこかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①と②はできたね。 ・今日書くのは③の「なぜそのようなつくりになっているのか」という理由だね。 <p>(2) カードを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・③を中心に書く。 <p>(3) 書いたことについて友だちと交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア ・全体 <p>4 並行読書をし、興味のある自然について書かれている本に出会う。</p>	<p>○前時に書いたことそれぞれを思い出すことができるよう、セネガル、チュニジアについて発表させる。</p> <p>○Aには、Qで出たことに対して、どうしてそのようなつくりになっているのかの理由を書くように説明する。このときに、人々の暮らしにべんりなことと絡めて書くことも伝える。</p> <p>※書き始めに迷っている児童にはいっしょにQを確認し、それに対して、なぜそのようなつくりになっているのかを尋ねて、書き進めることができるよう個別に支援する。</p> <p>○同じ国の家を選んでいる子どもどうしで交流し、そのようなつくりになっているわけが書かれているか、人々の暮らしにべんりなことからめて書けているかを確認させる。</p> <p>○カード作りを意識させながら、今日まとめたことが書かれているか確かめて並行読書をさせる。</p> <p>☆教材文から選んだ国の家のつくりや理由について、文章と写真や挿絵をかかわらせながら筆者の観点に沿って読んでいる。 (発言・話し合い・ワークシート)</p>
<p>6 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習</p> <p>今日の学習について、カードに書いたことや友だちと話したことをもとに国語日記を書いてくる。</p> </div>	<p>○次時はいよいよ並行読書で選んだ本でカードを書くことを伝え、本を用意しておくように伝える。</p>

8 本時の学習（8／11）

(1) 目標 並行読書をしてきた本に書かれている事例の中から一つ選んで3つの読み方に関連させながら「世界の不思議な家カード」にまとめることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
1 単元のゴールを確認する。 2 本時の課題をつかむ。	○世界の不思議な家カードを2時間で仕上げることを確認し、学習への見通しを持たせる。 ○「世界の不思議な家カード」をどの国の家で作ろうと考えているか聞く。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">これはすごいと思った国の「不思議な家カード」を書こう。</div>	
3 課題を解決する。 (1) カードの書き方を知る。 ①家のつくり、材料、人々の暮らし ②家のつくりに関する疑問、Q ③なぜそのようなつくりか、理由 人々の暮らしに便利なこと ④疑問について答えを知った自分の感想 (2) カードを書く。 ・①と②を書くんだね。 ・この家のつくりはすごいよ。 ・個人 4 本時の振り返りをする。	○国語日記を紹介することで意欲をもたせる。 ○簡単に書き方を説明する。 ○①、②は必ず、挿絵については②ができた段階で描くことを知らせる。 ○家のつくりについてのQということを再度確かめておく。 ※書き出しに迷っている児童には、①は箇条書きにしていくことを伝え、①の3つのうちどれからでも描き始めていいことを伝える。 ○既習を用いて活動を進めていけるよう声をかけながら机間指導する。 ○個人やペアでどんな学びがあったか発表させる。 ☆調べようとする家のつくりや人々の暮らしについて、文章と写真を関わらせながら読んだことを要約している。 (発言・話し合い・世界の不思議な家カード)
5 次時の学習について知る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 家庭学習 調べた国の家についてどんなことが分かったか、どんなことを思ったり考えたりしたか国語日記に書いてくる。 </div>	○次時は「世界の不思議な家カード」を仕上げることを伝える。

8 本時の学習（9／11）

(1) 目標 並行読書をしてきた本に書かれている事例の中から一つ選んで3つの読み方に関連させながら「世界の不思議な家カード」にまとめることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
1 単元のゴールを確認する。 2 本時の課題をつかむ。	○単元のゴールへ向かって意欲を持たせる。 ○「世界の不思議な家カード」をどの国の家で作ろうと考えているか聞く。(昨日とは違う児童)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">これはすごいと思った国の「不思議な家カード」を仕上げよう。</div>	
3 課題を解決する。 (1) カードの書き方を知る。 ①家のつくり、材料、人々の暮らし ②家のつくりに関する疑問、Q ③なぜそのようなつくりか、理由 人々の暮らしに便利なこと ④疑問について答えを知った自分の感想 (2) カードを書く。 ・③と④を書くんだね。 ・昨日書いてきたことを参考にしよう。家庭学習が役立ったね。 ・個人 4 グループで本をもちより、③と④が書いているのか確かめあう。 ・ペア 5 本時の振り返りをする。	○国語日記を紹介することで意欲をもたせる。 ○本時に書くことを確かめさせる。 ○③、④は必ず、挿絵については④ができた段階で仕上げに入ることを知らせる。 ○疑問の答えが分かってどんな感想をもったか、具体的に書くことを伝える。 ※書き出しに迷っている児童には、③は文章で書いていくことを伝え、～からという言葉をつけることを伝える。 ○既習を用いて活動を進めていけるよう声をかけながら机間指導する。 ○国が違っていても、全体で確かめた①の3つの項目について書けているかということや、②が家のつくりについての疑問になっているのかを話し合うことを伝える。 ○個人やペアでどんな学びがあったか発表させる。 ☆調べようとする家のつくりや人々の暮らしについて、文章と写真を関わらせながら読んだことを要約している。 (発言・話し合い・世界の不思議な家カード)
6 次時の学習について知る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 家庭学習 本時の学びについて、国語日記を書いてくる。 </div>	○次時は「世界の不思議な家カード」交流会の準備をすることを伝える。

8 本時の学習（10／11）

(1) 目標 自分の作成した「世界の不思議カード」を紹介し合うために交流会へ向け、カードに家のつくりやその理由が書かれているか確かめて友だちのカードを読んでいる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
1 本時の課題をつかむ。	○前時の感想を読み、本時への意欲を持たせて単元の言語活動を確認する。
学習したことを使ってまとめられているか確かめあい、交流するためのじゅんぴをしよう。	
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) グループで各自がカードをもちより、家のつくりやその理由についてまとめられているか確認し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体説明 <p>(2) カードを読み合い、交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ ・話型を知る <p>「私は～の不思議な家について調べました。家のつくりは…。人々の暮らしは、材料は…。」「なぜ～でしょうか。」「それは…」</p> <p>3 学習の振り返りをする。</p>	<p>○グループごとに分かれさせ、読む観点を確かめる。</p> <p>○4つの項目について観点ごとにかかっているかどうか、「①、②、③」、「④」と区切って交流し合うよう声をかける。</p> <p>○よく書けているところ、つけたしたらいい言葉などを出し合う。</p> <p>※意見を出すことに戸惑いがある児童には、材料や人の暮らし方に着目して聞かせ、家のつくりについても思いを持って聞くことができるように友だちのQがどんな疑問かたずねながら支援する。</p> <p>○グループの中でどんな学びがあったかを中心に出させるようにする。</p> <p>☆家のつくりやその理由がカードに書かれているか確かめながら友だちのカードを読んでいる。</p> <p style="text-align: right;">(行動観察・話し合い)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>家庭学習</p> <p>本時のグループでの話し合いについて自分のカードに友だちからもらった意見を中心に書いてくる。</p> </div>	<p>○次時は「世界の不思議な家カード」で交流会を開くことを伝える。</p>

8 本時の学習（11／11）

(1) 目標 世界の不思議な家交流会で自分の作成した「世界の不思議カード」を紹介し、友だちのカードについても家のつくりやその理由が書かれているか確かめて読んでいる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p>	<p>○前時の感想を読み、本時への意欲を持たせて単元の言語活動を確認する。</p>
<p>学習したことを使ってまとめられているか確かめながら、「世界の不思議な家カード」を交流しよう。</p>	
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) グループで各自がカードをもちより練習する。 ・全体説明</p> <p>(2) カードを読み合い、交流し合う。 ・グループ ・「私は～の不思議な家について調べました。家のつくりは…。人々の暮らしは、材料は…。」「なぜ～でしょうか。」「それは…」 前半、後半分かれて活動する。</p> <p>3 学習の振り返りをする。</p>	<p>○グループごとに分かれさせ、読む観点を確かめる。 ○家のつくりやその理由についてまとめられているか確認しながら練習させる。</p> <p>○カードについての感想を言う。感想をもらった後は自分の感想を読むよう声をかける。 ○前半、後半と時間を決めて交流させる。 ○特によく書けているところについては具体的に伝えるよう声をかける。 ※良さを見付けることに困っている児童には、家のどんなところがすごいと思ったか尋ね、その後理由を話させる。 ○グループの中でどんな学びがあったかを中心にさせようとする。 ☆家のつくりやその理由がカードに書かれているか確かめながら友だちのカードを読んでいる。 (行動観察・話し合い)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>家庭学習 教師自作の資料を用いて、自分で「世界の不思議な家」カードを自力で作成してくる。</p> </div>	<p>○調べていく時には一冊の本だけではなく、関連するいろいろな本を読み、調べることで効果的な読書につながることを話す。 ○説明文の読みを4年生へつなげていくことと、次時は物語文「てぶくろを買いに」を学習することを伝える。</p>